

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪市営荒本住宅B棟建替工事	階数	地上10F
建設地	大阪府東大阪市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	448 人
地域区分	5地域	年間使用時間	14,540 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年3月8日
敷地面積	12,606 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 高橋建築設計事務所
建築面積	908 m <sup>2</sup>	確認日	2017年3月10日
延床面積	7,569 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	138 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	92
④上記+	138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・市営住宅の建替計画であり、入居者の年齢や家族構成、要望等のアンケートをもとに住形式を配分し、安全で住みやすい共同住宅としている。		<b>その他</b> なし。
<b>Q1 室内環境</b> ・屋根、外壁、最下階の断熱施工により内部の熱負荷を抑え、住戸間は遮音を考慮した構造となっている。 ・接着剤、塗装材等はシックハウスを考慮したものを使用している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・1階には車椅子乗用者世帯向け住宅を設置し、EVを福祉対応のものとする事で車椅子の生活に対応できるようにしている。 ・構造材料は、劣化対策等級3を目指している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・周辺のまちなみや景観に配慮した形状、色彩の計画としている。 ・道沿いに緑地を設ける事により、まちなみに心地よい緑の景観を形成している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・断熱施工をし、室内エネルギーの省力化を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・住戸タイプの上下左右同タイプ率を高め、健在の量産化、品質、工期短縮等の施工の省力化を図っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・建物の階数を10階とし、境界から離すことで、近隣及び同団地内住棟への日影や日照、風通しをよくしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0161

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)東大阪市営荒本住宅B棟建替工事					
		建設地	大阪府東大阪市荒本1丁目104-1					
		用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							対象外	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.2	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	5.0	4	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				2.2		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								